

第 33 回日本女性医学学会学術集会

【会期】平成 30 年 11 月 3 日～4 日

【会場】長良川国際会議場（岐阜市）／岐阜都ホテル

【HAP 関連プログラム等のご案内】

NPO 法人 HAP による学術発表を、下記の通り行います。

■シンポジウム 3「女性医学における骨粗鬆症の予防と治療に対する多職種連携」

・日時：11 月 4 日（日）午前中

・座長：

倉林 工 先生（新潟市民病院 産科・婦人科）

小松 浩子 先生（慶應義塾大学看護医療学部 看護学科）

演者：

「骨粗鬆症リエゾンサービスの現状と未来」

鈴木 敦詞 先生（藤田医科大学医学部 内分泌・代謝内科学）

「骨粗鬆症リエゾンサービスでの理学療法士の役割と産婦人科領域における可能性」

加藤木 丈英 先生（聖隷佐倉市民病院 リハビリテーション室）

「OLS における栄養指導～女性医学の視点から考える～」

塚原 典子 先生（帝京平成大学 健康栄養学科）

「かかりつけ薬剤師、健康サポート薬局を活用した骨の健康教育・早期受診推奨・骨折防止活動」

宮原 富士子 先生（NPO 法人 HAP）

■一般演題（口演）『その他』

・演題名：女性の健康支援ができる薬剤師養成研修の課題と展望—かかりつけ薬剤師・健康サポート薬局の機能充実と活用をふまえて—

・筆頭演者氏名：宮原富士子

・発表日時：2018 年 11 月 3 日（土）16:40～17:15

・会場：第 3 会場（長良川国際会議場 5F 国際会議室）

■一般演題（ポスター）『その他』

・演題名：薬剤師による女性の健康支援実施への課題

・発表日時：2018 年 11 月 4 日（日）11:30～12:00

・会場：ポスター会場 1（長良川国際会議場 2F ロビーホール）

■展示

HAP の活動についての展示を行う予定です。